

No. 125

2010

1



学院だより



東京家政学院大学

現代生活学部生活デザイン学科誕生記念イベント
三井アウトレットパーク多摩南大沢での
ファッションショー（2009年11月3日）

発行 学校法人 東京家政学院

〒102-8341 東京都千代田区三番町 22番地

Tel. 03-3262-2251（代表） Fax. 03-3262-2174

平成 22 年度入試日程 筑波学院大学						
■経営情報学部						
入試区分		募集定員	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表	入学手続締切日
一般入試	A日程	40名	1月18日(月)～ 1月29日(金)	2月 6日(土)	2月12日(金)	2月26日(金)
	B日程	20名	2月15日(月)～ 2月26日(金)	3月 5日(金)	3月12日(金)	3月26日(金)
AO入試	4 期	※全AO入試合計 60名	3月 1日(月)～ 3月 9日(火)	3月15日(月)	3月19日(金)	3月26日(金)
外国人留学生特別選抜試験	2 期	若干名	1月 6日(水)～ 1月15日(金)	2月11日(木・祝)	2月17日(水)	2月26日(金)
■情報コミュニケーション学部						
入試区分		募集定員	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表	入学手続締切日
留学生編入学試験		若干名	1月 6日(水)～ 1月15日(金)	2月11日(木・祝)	2月17日(水)	2月26日(金)

平成 22 年度入試日程 東京家政学院中学校・高等学校				
東京家政学院中学校入試				
試験回数	募集人員	出願期間	試験日	合格発表
1回目	午前40 午後70	平成22年 1月20日(水) ～ 2月 1日(月)	平成22年 2月 1日(月) (午前・午後入試)	平成22年 2月 1日(月)
2回目	午前20 午後30	平成22年 1月20日(水) ～ 2月 2日(火)	平成22年 2月 2日(火) (午前・午後入試)	平成22年 2月 2日(火)
3回目	午前10	平成22年 1月20日(水) ～ 2月 3日(水)	平成22年 2月 3日(水) (午前入試)	平成22年 2月 3日(水)
4回目	午前10	平成22年 1月20日(水) ～ 2月 4日(木)	平成22年 2月 4日(木) (午前入試)	平成22年 2月 4日(木)
★中学入学試験は千代田三番町校舎にて行います。				
東京家政学院高等学校入試				
試験種別	募集定員	出願期間	試験日	合格発表
推薦入試	40	平成22年 1月18日(月) ～ 19日(火)	平成22年 1月22日(金) ・23日(土)	平成22年 1月22日(金) ・23日(土)
一般入試	40	平成22年 1月25日(月) ～ 2月 5日(金)	平成22年2月10日(水)	平成22年2月10日(水)
★高校入学試験は千代田三番町校舎にて行います。				

★お問い合わせ先
筑波学院大学
〒305-0031
茨城県つくば市吾妻3-1
入試・広報課
TEL 029-858-4815

★お問い合わせ先
東京家政学院中学校・高等学校
入試事務室
TEL:03-3262-2256

学校法人 東京家政学院



Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町 22 番地
(代表電話番号) 03-3262-2251

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/>

年 頭 所 感

KVAルネサンス飛翔の年にしよう
学校法人東京家政学院 理事長 山口孝

皆様、新年おめでとございます。

本年は、新学期から東京家政学院大学及び筑波学院大学で新しい学部が発足します。



東京家政学院大学においては、家政学部、人文学部及び短期大学を発展的に統合・再編し現代生活学部として5学科を開設し、筑波

学院大学においては、これまでの情報コミュニケーション学部を改組し経営情報学部がスタートします。

また平成22年度は、三番町校舎1号館の全面的な改修などキャンパスのリニューアルを図り、平成23年度には、現代生活学部の2学科(現代家政学科と健康栄養学科)が千代田三番町に移って参ります。これによって中学校・高等学校・大学が揃った学院のコアが、千代田三番町キャンパスに作り上げられることとなります。

私はKVA精神に根ざした本学院87年の伝統を引き継ぎ、より広い学生・生徒のニーズに応え、社会に貢献できる学院に発展させたいと考えています。

以上の改革は、私たちの学院全体の将来を見据えた決断であり、ぜひ成功させなければなりません。来年度の学生募集は最終段階に入っています。卒直に申して、学校・学部・学科により入試状況には偏りがありますが、学術学生交流協定を結んだ中国の大学から初めての編入学生を迎えるという明るいニュースがあります。常に教育内容・方法に改善を加えつつ、魅力ある学院づくり、学生・生徒で賑わう活気あるキャンパスづくりに努めて参ります。KVAルネサンスを進めるなか、本年を我が学院、飛躍の年にしようではありませんか。学生・生徒、同窓生、教職員の皆様のご支援・ご協力を是非お願いいたします。以上をもって、年頭の所感といたします。

○お詫びと訂正○

前号の学院だより第124号の記事において入試日程の一部に誤記がありました。お詫びして訂正いたします。

P7「平成22年度入試日程東京家政学院大学・大学院」入試日程の試験日(C日程)

(誤) 平成22年1月16日(火)

(正) 平成22年3月16日(火)

大江文庫資料紹介 36

五 節 句

―江戸の年中行事―
東京家政学院大学附属図書館

ひな祭りや端午の節句・七夕、今でも祝われている節句だが、江戸時代では五節句といわれ、幕府の公式行事であった。

大江文庫には年中行事に關した資料を所蔵しているが、今回は「豊歳五節句ノ遊」という歌川国貞(三代豊国)画の五枚揃いの錦絵を紹介する。

○人日の節句(二月七日)

七種粥を食べ、邪気をはらい、一年の無病息災を願った。絵には羽子板や風がみられる。



○上巳の節句(三月三日)

昔は人形にけがれを移して、川に流したりしていたが、江戸時代には雛人形を飾り、女兒が健やかに育つことを願う行事になった。絵には桃の花や雛人形がみられる。



○端午の節句(五月五日)

薬草を摘んだり、菖蒲酒を飲んだりしていたが、「菖蒲」が「尚武」に通じると言うことで、男子の立身出世を祈り、鯉のぼりや武者人形を飾るようになった。絵には金太郎の人形や鯉のぼりがみられる。



○七夕の節句(七月七日)

もとは中国に由来し、牽牛星と織女星の星祭の伝説と乞巧(きこう)という女子が手芸の上達を願う行事からきたといわれている。絵では笹に短冊をくくりつけている姿がみられる。



○重陽の節句(九月九日)

中国の思想において九はめでたい数字で、それが重なる九月九日を大変めでたい日としていた。邪気を払い、長寿を祈り、菊を飾ったり菊酒を飲んだりした。絵には菊の花を摘む姿がみられる。



くずし字を読むことは難しいが、絵からその風俗を読み取ることもできるので、是非活用してほしい。

センター試験利用入試

区分	東京家政学院大学・現代生活学部 現代家政学科 健康栄養学科 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科
出願期間	(A日程)郵送受付 平成22年1月18日(月)～2月2日(火) (B日程)郵送受付 平成22年2月1日(月)～2月10日(水) (C日程)郵送受付 平成22年3月8日(月)～3月22日(月) 窓口受付 平成22年3月23日(火)
試験日 (センター試験)	平成22年1月16日(土)、17日(日)
合格発表	(A日程)平成22年2月9日(火) (B日程)平成22年2月18日(木) (C日程)平成22年3月25日(木)

★お問い合わせ先
東京家政学院大学・大学院
〒194-0292
東京都町田市相原町2600番地
入試広報課
TEL 042-782-9411

平成 22 年度入試日程 東京家政学院大学・大学院

一般入試

区分	大学院 人間生活学研究科	東京家政学院大学・現代生活学部	
		現代家政学科 健康栄養学科(C日程を除く) 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科	
出願期間	(4月入学・後期) 平成22年1月26日(火)～2月2日(火) (9月入学) 平成22年7月2日(金)～7月9日(金)	(地区入試)平成22年1月6日(水)～1月14日(木) (A日程)郵送受付:平成22年1月6日(水)～1月19日(火) 窓口受付:平成22年1月20日(水) (B日程)郵送受付:平成22年1月21日(木)～2月4日(木) 窓口受付:平成22年2月5日(金) (C日程)郵送受付:平成22年2月25日(木)～3月8日(月) 窓口受付:平成22年3月9日(火)	
試験日	(4月入学・後期) 平成22年2月10日(水) (9月入学) 平成22年7月21日(水)	(地区入試)平成22年1月23日(土) (A日程)平成22年2月1日(月)、3日(水)のうち1日又は両日 (B日程)平成22年2月13日(土) (C日程)平成22年3月16日(火)	
試験場	町田キャンパス	(地区入試)東京(千代田三番町キャンパス)・仙台・新潟・宇都宮・甲府・長野・静岡・那覇 (A・B日程)町田キャンパス・千代田三番町キャンパス (C日程)町田キャンパス	
合格発表	(4月入学・後期) 平成22年2月16日(火) (9月入学) 平成22年7月24日(土)	(地区入試)平成22年1月26日(火) (A日程)平成22年2月4日(木) (B日程)平成22年2月15日(月) (C日程)平成22年3月17日(水)	

* 窓口受付は町田キャンパス入試広報課窓口に限る。

募集人員

入試方法	区分	大学院 人間生活学研究科 生活文化専攻	東京家政学院大学・現代生活学部				
			現代家政学科	健康栄養学科	生活デザイン学科	児童学科	人間福祉学科
一般入試	地区入試		10	10	10	6	10
	A日程		15	25	20	13	15
	B日程		3	10	5	3	5
	C日程		2	—	2	2	2
センター試験 利用入試	A日程	4月入学生・9月入学生、合わせて10名	5	10	5	3	5
	B日程		3	5	3	1	2
	C日程		2	2	2	1	2
	C日程		2	2	2	1	2
計		10	40	62	47	29	41



東京家政学院大学・短期大学

TOKYO KASEI-GAKUIN UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE

町田キャンパス

〒194-0292 東京都町田市相原町 2600 番地
TEL：042-782-9811（代）

千代田三番町キャンパス

〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地
TEL：03-3262-2251（代）

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/>



ファッションショーはつめかけた多くの家族連れの喝采を受けました



八王子テレメディア「ディリー八王子」の画面から

アウトレットパークでファッションショー

11月3日、文化の日、東京家政学院大学のファッションショーが、よく晴れたまぶしい日ざしに南仏プロバンス風の街並みが映える三井アウトレットパーク多摩南大沢の400組を軽く超える家族連れの喝采を受けました。毎年の卒業制作発表会に加えて、3年連続で八王子学生天国の目玉として、また町田市産業祭などで多くの方々楽しんでいただいています。本学のファッションショーは、今回は「さらに地域の方々により密接な活動を目指す生活デザイン学科」の誕生記念イベント第1弾として、ファッションのテーマパークともいえるアウトレットパークに堂々の進出を果たしました。テーマも生活デザイン学科誕生イベントにふさわしく「Succession（未来につなぐ）」として、衣装デザイン・制作ショーの構成・演出・運営、さらにモデルに

いたるまですべて本学の学生による手作り。伝統と実績の東京家政学院大学のあらたなメッセージとなりました。

当日の模様は八王子のケーブルテレビで11月5日（木）の定時ニュースで放映されました。

客員教授特別授業（短期大学）

東京家政学院短期大学では、平成21年度の客員教授特別授業を3講座実施しました。第1回は、6月11日（木）に渡辺亘先生（銀座ハゲ天会長）による「天ぷら、あれこれ」と題した特別授業で、この授業が先生の調理実習特別デモンストレーションを含めた40年にわたる本学での最終の授業となりました。

第2回は、10月15日（木）に田村隆先生（つぎ田村三代目当主）による「料理は段取り」と題した特別授業で、先生のユーモアたっぷりの楽しい授業となりました。

第3回は、11月6日（金）に元光塩会会長で料理研究家の城戸崎愛先生による「お総菜、今昔、味の十字路」と題した特別授業でした。先生は、「世のため人のためになるよう」「謙虚な態度で」生きなさいと、創立者大江スミ先生からの教えを在学生に伝えられ、最後に「Do my best」の言葉で短大最後の特別授業を締めくくられました。



世代間交流プログラム「はなむすび」

人間福祉学科では、学生が主体的にPR O D U C Eする世代間交流プログラム「はなむすび」を試行的に実施しています。はなむすびでは、町田市鶴川にあるカフェレストランをお借りし、地域の皆様に支えられながら、2月から準備を始め、7月にグランドオープンし、もうすでに3回を終えました。

地域の高齢者の皆さん、大学生や高齢者のお孫さんがひとつに集い、餃子と一緒に作ったり、またクリスマスリースを作ったりして楽しんでいきます。そして後半では、ちよつと心が和む福祉のお話を聞かせていただく場を設けています。このような取組の中から『地域の皆さんとともに歩む大学』のあり方を考える契機になればありがたいと思います。



折り紙クリスマスモール作り

海外研修（フランス）実施

平成21年度の海外研修は、「フランスの衣食住を学ぶ」ことを目的として、9月2日から9日の間、パリおよび近郊で実施しました。



ヴェルサイユ宮殿にて

参加者は学生36名と引率教員2名です。研修では、ノートルダム寺院、ルーブル美術館、ヴェルサイユ宮殿などを訪れ、フランスの歴史、建築および美術に対する理解を深めました。また、伝統文化を学ぶだけでなく、近代建築の巨匠コルビジエの建造物も見学しています。更に、ブラジル移民が政府の支援を受けて開いているブティックで、作業を身近に見せてもらう機会にも恵まれました。

参加者は、フランス文化の素晴らしさに圧倒されるとともに、日本には知らない日常の営みに直に触れたことで、フランスを身近に感じたようです。初めて日本を外から眺め、その良さに気づいた学生も多く、実りある研修となりました。

10・11月セミナー開催

健康栄養学科設立記念セミナー「管理栄養士としてのキャリア形成」が10月10日（土）町田キャンパス（大江スミ記念ホール）で開催され、宗像伸子光塩会会長による基調講演「今、社会が求める管理栄養士とは何か」の後、4名の卒業生、梶奈さん（世田谷区）、篠宮真理さん（順天堂東京江東高齢者医療センター）、吉野知子さん（社会福祉法人同胞互助会）、望月ひとみさん（株）中央グリーンハウス）から、ご活躍の様子やエピソード、難問解決への努力、大学で学んだことを現場に活かす方法を伺いました。多数の在校生も参加し、先輩から後輩へのエールを頂きました。

生活デザイン学科誕生記念イベント「八王子の『食』と『器』を楽しむ」は、KVA祭の11月14日（土）に行われました。陶芸家渡辺伸郎先生による講演、八王子みなみ野の土を使って焼いた器に、八王子特産の食材を用いた料理が、本学の卒業生であり客員教授でもある料理研究家城戸崎愛先生の調理デモンストレーションにより、盛りつけられる調理実習型の楽しいセミナーとなりました。



生活デザイン学科誕生記念セミナー
真ん中が城戸崎先生

平成21年度第21回特別展「ハートフル・ミュージアム—思い出のひと品—」

平成21年10月13日（火）から11月20日（金）にかけて、生活文化博物館にて特別展が開催されました。

私たちの暮らしの中にはモノが満ちあふれています。その中には日常の何気ないモノであっても貴重な思い出につながるその人だけのかけがえのない価値をもつモノがあります。今回はモノではなく、そのモノに込められた心の記録の展示を試みました。

本学の学生・卒業生や教職員、地域の方々などに広く公募をした結果、107名の方々から118点のモノが集まりました。また、応募者のうち希望された方には展示作業もお手伝いいただきました。

お陰様で好評を博し、多数の方々にご来館いただいたうえ、「思い出」に対して共感や懐かしさを感じたとの感想を多くいただきました。

バレーボール部 5部に躍進

本学バレーボール部（関東学連6部）は、10月31日に行われた「入替戦」（5部7位・6部2位）において、お茶の水女子大学と対戦し、3セットを連取して勝利を収め、来春には「5部」に昇格することが決まりました。

留学生のための芸術文化鑑賞会

9月27日（日）に国際交流センター主催の「留学生のための芸術文化鑑賞会」が行われました。当日は、留学生22名、引率教員2名の計24名で山梨県に赴き、様々な種類のぶどう狩り体験や武田信玄公の隠し湯として戦国時代より親しまれている温

泉館にて食事をいただきました。日本の歴史を学び、秋の味覚を堪能した1日でした。

第46回KVA祭

11月14日・15日、町田キャンパスでKVA祭が開催されました。中庭ステージでの催し、模擬店、教室展示、ファッションショー、お笑いなどが行われ、大勢の来場者でにぎわいました。また、14日には光塩会奨学金の授与式が行われ、宗像伸子光塩会会長から6名の学生に奨学金が授与されました。

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻 3-1
TEL : 029-858-4811 (代表)
FAX : 029-858-7388
URL <http://www.tsukuba-g.ac.jp>



KVA祭開催される

平成21年10月24日・25日に第19回KVA祭が開催されました。共学5年目を迎える本年、新たな気持ちで自分たちの伝統を見直し、築いていこうと、「New Sensation」心も空も Sunny でさわぎつくせKVA祭」というテーマを挙げました。

来場者数は三千人近くに達し、つきぢ田村三代目の田村隆氏講演会、県内で一定のステータスを得た第4回KVA杯ドッジボール大会、お笑いライブ…スピードワゴンをはじめとした多彩なイベントで大いに盛り上がりました。

留学生研修旅行実施

毎年恒例の留学生文化研修旅行が11月14日(土)に行われ、留学生・教職員等21名が成田山新勝寺と房総のむら(印旛郡栄町)を訪れました。成田山新勝寺では、任天門・三重塔等建造物をボランティアガイドのもと見学しました。房総のむらでは、江戸時代後期から明治時代前期における街並みの中で、紙ひきや土器づくりの実演等を見学し、千代紙ろうそくの製作を体験して、日本の歴史・文化に触れる事ができた研修旅行となりました。

保護者会開催

筑波学院大学では、9月26日(土)に第6回保護者会を実施しました。全学年の保護者を対象に、全体会での学長挨拶、就職委員長の就職に関するお願いと現状の話、外部より株式会社ディスコ・ヒューマンキャピタル研究所シニアコンサルタントの高野裕氏を招いての就職講演があり、その後担任との個別面談に移りました。高野氏の講演は保護者にも好評で、今回事曜日の午後には保護者会を実施したことについては、特に遠方から来られる保護者からは時間に余裕がありよかったとの意見が出ました。大学での様子や就職への関心が高く、今後もより充実した保護者会を実施していく予定です。

松岡講師がecoスペシャルセッションをオーガナイズ

9月27日、つくば市国際会議場において日本環境共生学会の2009年度学術大会が開かれ、同大会の特別企画である「ecoスペシャルセッション」のコンビナーを、南極について書いた「Antarctica」(Springer社)や「水環境と人間」(日本大学総合科学研究所)の著書もある本学の松岡東香講師が務めました。林武司氏(秋田大学准教授)による特別講演「地球の今を理解しよう」に続き、石田賢氏(日本サムスン顧問)、島袋典子氏(つくばインキュベーションラボ代表取締役)、トーマス・ジェラー

ド氏(コミュニケーションプロフェッショナルズ代表取締役)らによるパネルディスカッションが催され、環境イノベーションの創出可能性について熱い議論が交わされました。

コーディネーターの松岡講師



▷ KVA祭模擬店



◁ KVA祭集合写真



▷ 留学生旅行・房総のむら・



まつりつくばに学生参加

筑波学院大学の「平成21年度まつりつくば」への参加は8月29日に行われ、学生33人が元氣一杯大通りで本学の踊りを披露しました。この踊りは、つくば市最大のイベントで本学をアピールしようというもので、今年で8回目。今年も学友会が中心になり、半年がかりで練習してきた「東京ラプソディ」にあわせ、約三千人の観客を前に見事な踊りを見せました。「まつりつくば」に学校単位で参加しているのは筑波学院大学だけでその努力は高く評価されています。



まつりつくば踊り

秋季公開講座紹介

筑波学院大学の秋季公開講座は6講座が進められています。講座名は「講義&ディスカッション 日本のクラシック映画」(全8回 ロバート・ジュベ教授)、「ドイツワ

さらに強化された就職支援

イン講座」(全1回 大島慎子教授)、「マイクロコントロール入門」(全1回 高藤清美准教授)、「英文学を楽しむ」(全2回 波多野葉子教授)、「日本語教育入門」(全4回 金久保紀子准教授)。前期にはこれとは別に8つの講座が実施されました。いずれも費用が安く、ためになると好評で講座によっては抽選で受講者を選ぶものも多くなっています。



社会人基礎力診断テストの様子

本学の「企業ニーズに応える社会人育成プロジェクト」が、平成21年度大学改革推進等補助金、学生支援推進プログラムに採択され、学生の就職支援に力を入れています。

このプログラムでは、社会人基礎力の構築を狙いとしています。また、学生の就職活動に関する不安や、キャリア設定のサポートをする専属のスタッフ(メンタルサポートスタッフ)を配置、メンタルケアの強化を行っています。メンタルサポートスタッフが配置されてからまだ2ヶ月程度ですが、カウンセリング等を実施した学生の多くが、その場で次の予約を取って帰る好評ぶりです。

第1回デザインコンテスト2009

「情報伝達としてのデザイン教育」への理解を広めるため、中高生対象の第1回筑波学院大学デザインコンテスト2009を開催しました。本年度のテーマは「エコバッグ」で、近隣の学校を中心に多くの作品が寄せられ、学内審査で選出された入賞作品45点をKVA祭の第1日目に展示し、一般来場者および在学生による人気投票を行いました。投票は298票にもおよび、学内審査を併せて7点の上位賞を決定しました。コンテストの企画・運営に3年生(実践C)が中心になり実施し、成功裏に終わることができました。来年もより充実した内容で第2回デザインコンテストの開催を予定しています。



コンテスト準備

硬式野球部秋季リーグ戦にて活動開始

野球部は、全員がすべての試合に参加する小さな部ですが、初の公式戦にもかかわらず5割の勝率を達成したなど極めて満足する結果となりました。メンバーは元氣な声で下級生を好リードした根本佑治捕手とムードメーカーとなった郡司宏幸一塁手ら4年生から1年生までの11選手、そしてマネージャーの飯塚ありえさん(3年)、牧野奈津美(3年)さんです。特に、マネージャーはスコアブックへの記入、試合のビデオ撮影、野球連盟の事務業務などをこなす大活躍でした。



野球部メンバー



東京家政学院中学校・高等学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341

東京都千代田区三番町 22 番地

TEL.03-3262-2255 (中学)

TEL.03-3262-2256 (高校)

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/>

E-mail:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

常磐祭報告 ① 体育祭

九月七日、常磐祭第一部体育祭が千駄ヶ谷にある東京体育館で行われました。

体育祭は徒競走や障害物競走、騎馬戦、クラス対抗リレーなど内容盛りだくさんです。

午前の部のハイライトは、中3で踊る「みのり」で、稲穂が風に揺れる様子を見事に表現し、お昼のアトラクションでは、バトン部、ソング部、吹奏楽部の演技・演奏で会場を沸かせました。

そして、最大の見所は体育祭最後の演目となる、高3の「荒城の月」幻想」です。約半年間練習を重ね、この日の成功を実現させました。

準備、運営にあたった体育委員会の生徒は、生徒一人ひとりが輝ける体育祭を見事に創りあげました。今後も家政学院の伝統を受け継いで、心のこもった体育祭を生徒の手で創り続けて欲しいです。

＜閉会式の様子＞



▷ 体育祭の踊り



大学・短大・専門学校 進学相談会

進路指導行事として定着している『進学相談会』が、今年度も十月末に実施されました。これは、高校生を対象にして東京家政学院大学・筑波学院大学、外部大学・短期大学・専門学校との個別相談を受けながら進学意識を高めていく行事です。従来は、六月に全高校生を対象に行っていたましたが、生徒達の志望進路が多様化している現状では、生徒達が希望する大学を呼ぶことができなくなりました。幸いなことに、他の高等学校と共催という形で進学相談会を行うことが可能となりましたので、今年度は初めての試みということで実施に至りました。(対象は高一・二のみ)

当日は、東京家政学院大学・筑波学院大学・専門学校・留学の相談会は校内で行い、他大学・短期大学の相談会は麹町の東京グリーンパレスの会場にて行いました。あいにく雨となり、移動と待機場所等の問題はありましたが、実際校内で実施するよりも、より多くの大学の情報を得ることができること、他校の生徒と触れることとで今まで以上に刺激を受ける機会になると、難関大学の情報を得られることなど充実した機会になったと確信しております。一方校内に於いても、午前中に東京家政学院大学並びに筑波学院大学の模擬授業が実施されたこともあり、個別相談も身近に感じられたことでしょう。来年は校舎改築の為、講堂が使用できないため本年度と同じような形式で実施することになると思います。このような行事が、内部・外部

オープンスクール実施

11月7日、中学受験生を対象にオープンスクールを実施しました。受験が間近にせまった小学6年生には国語、算数、理科、社会の中から教科をひとつ選んでいただき、本校の教員が入試問題のポイントを授業形式で解説しました。各教科から出題傾向や勉強方法などの説明もあり、受験生にとって有益な企画になったと思います。教科によつては受験日までの課題も出ていました。受験当日までしっかり対策をして本来の実力を発揮して欲しいと思います。

また小学5年生、6年生向けに花道、料理、技術家庭のコースを設定しました。家政学院の雰囲気味わってもらうことが企画の目的です。本校の中学一年生は総合の時間を利用して花道を学びます。各体験コースとも女子校らしく、楽しんで学べる内容となっていました。未来の家政学院の生徒である受験生たちが課題に真剣に取り組む姿をみて、来年、再来年が楽しみになりました。オープンスクールは今年度からはじまった新しい企画ではありますが、受験生にとってより充実した説明会を行い、本校をご理解いただいた上で入学していただけるよう支援していききたいと思っています。

② 文化祭



模擬店の様子

常磐祭第2部文化祭が10月11日、12日に行われました。今年度のテーマ「舞姫」にそって、それぞれの参加団体が「1人1人が美しく舞い、踊るような文化祭」にするため、工夫を凝らした発表を行いました。今年度は、文化祭直前でのインフルエンザの流行によって、学級閉鎖が相次ぎ、実行委員を中心に厳しいスケジュールの中、何とか完成させた文化祭でした。

当日は、体育系、文化系クラブの発表や展示、高校生による模擬店での販売と大いに盛り上がった2日間でした。生徒自身が協同し、問題を1つ1つ解決しながら完成させた文化祭を通じて、生徒たちの成長を実感できる貴重な行事となりました。ご来場頂いた皆様、本当にありがとうございました。



生徒によって飾り付けられた正門



文化祭の様子



クラブ大会報告

高校バドミントン部

第一支部球技大会 女子団体 第3位
東京都新人大会 東ブロック女子団体 第1位

高校ソングリーダー部

第44回マーチングバンド・パトントワリング関東大会 金賞
平成22年1月全国大会出場予定

中学吹奏楽部

第49回 東京都中学校吹奏楽コンクール 銀賞

高校吹奏楽部

第49回 東京都高等学校吹奏楽コンクール 金賞



クラブ大会報告

中学バスケットボール部

第一支部球技大会3位
東京都中学校バスケットボール新人大会千代田区大会1位
東京都中学校バスケットボール新人大会11地区大会2位
東京都中学校バスケットボール新人大会出場



中学バドミントン部

千代田区新人大会
団体：優勝
個人：シングルス優勝・準優勝
東京都中学校バドミントン新人大会Aブロック予選大会
団体：インフルエンザのため棄権
個人：シングルス優勝・準優勝
東京都中学校バドミントン新人大会
個人：シングルス ベスト16



住みよい地域づくりのために

東京家政学院大学 工芸文化学科卒業 谷川智香子（旧姓 日比）

中・高・大学と家政学院で学んだ私。その後の方向を決めたきっかけは、大学の卒業研究でお世話になった商店街理事長さんの「街のコンサルは女性が少ないから頑張ってみたら」という激励の言葉。卒業研究の成果により卒業式には大江賞を受賞でき、これらを活かして社会還元したいという気持ちが芽生えました。

就職は超氷河期に当り、まず一般事務で総務・人事の仕事に携わり、3年目に勝負を賭けシンクタンクの採用試験を受け、地域経済研究室で研究員として働く場を得ました。

結婚を機に退職し、地元地域で経験を活かす方法を探していた矢先、文京区広報課メディアパートナーの公募を見付け早速行動。行政情報グループに属し、議論した問題・改善点・提案を年度末に報告書の形でまとめ発表した結果、新部署の設置や体制の変更等が実現しました。

その実績により、基本構想推進会議の委員として行政運営計画について意見する場に参加する事となったものの、多くの識者の中での発言・発言内容の議事録公開は極度のプレッシャーでした。不満だけでは問題解決にならない為、住民と行政の

中間位置に自分の視点を置き、常に提案型の発言を心掛け、事業内容の改善、新たな試みへと結びつけました。地域活動を通じ、年代や活躍の場が異なる方々との交流は何より大きな財産となりました。ある委員に「あなた一体何者？」と聞かれ「ただの主婦です」と答えると納得いかない顔をされました。今後も一級のための主婦を目指しつつ、地域活動もしていきたいと思っています。



谷川智香子さん
（旧姓 日比）

プロフィール

東京家政学院大学人文学部工芸文化学科卒業（平成8年3月）
建設会社総務部一般事務職、財団のシンクタンク地域経済研究室研究員を退職後、文京区メディアパートナー、文京区基本構想推進会議委員を経て現在に至る

研究室紹介 36

筑波学院大学

情報メディア学科
山島一浩 研究室

研究室では、情報学の立場から、対象となる情報の「メディア」としての働きと、情報と利用者との「相互作用」の関係性について着目した研究をすすめています。

研究室の学生たちの取り組みテーマを少し紹介しましょう。現実の空間とCG空間とを融合させて現実空間の情報補強をする研究、テクニカル分析にもとづいて株をプログラムで自動的かつ安定して取引する研究、利用者の評判や興味に応じてWeb検索エンジンの確度を向上させる研究、いつでもどこでもコンピュータに接続できるユビキタス環境についての調査研究、外界の位置情報を取り込んで2輪で立ち安定して走行する自律ロボット制御の研究と扱うテーマは、多岐にわたっています。

ただ一貫しているのは、扱う情報を決め、観測して、分析し、支援策を考え、システム開発し、表現してみる。その結果、出来上がった「モノ」の「メディア」としての役割、人やロボットと情報との「相互作用」によって成立する関係性をつまびらかに説明できるようにすることで、扱った対象を情報として理解するこ

とができるのではないかとという取り組みです。

これまでの進路は、SEや研究機関を相手にする商社員、大学院進学等となっています。

経済状況が厳しい中、学生には辛い状況ではありますが、そういう時にあってこそ大江スミ先生のように、得た経験や知識を最大限活かし、常に目標に向かって主体的に行動できる強い人になってもらいたいと願っております。



左から吉川君、山島先生、中村君、金君、島田さん